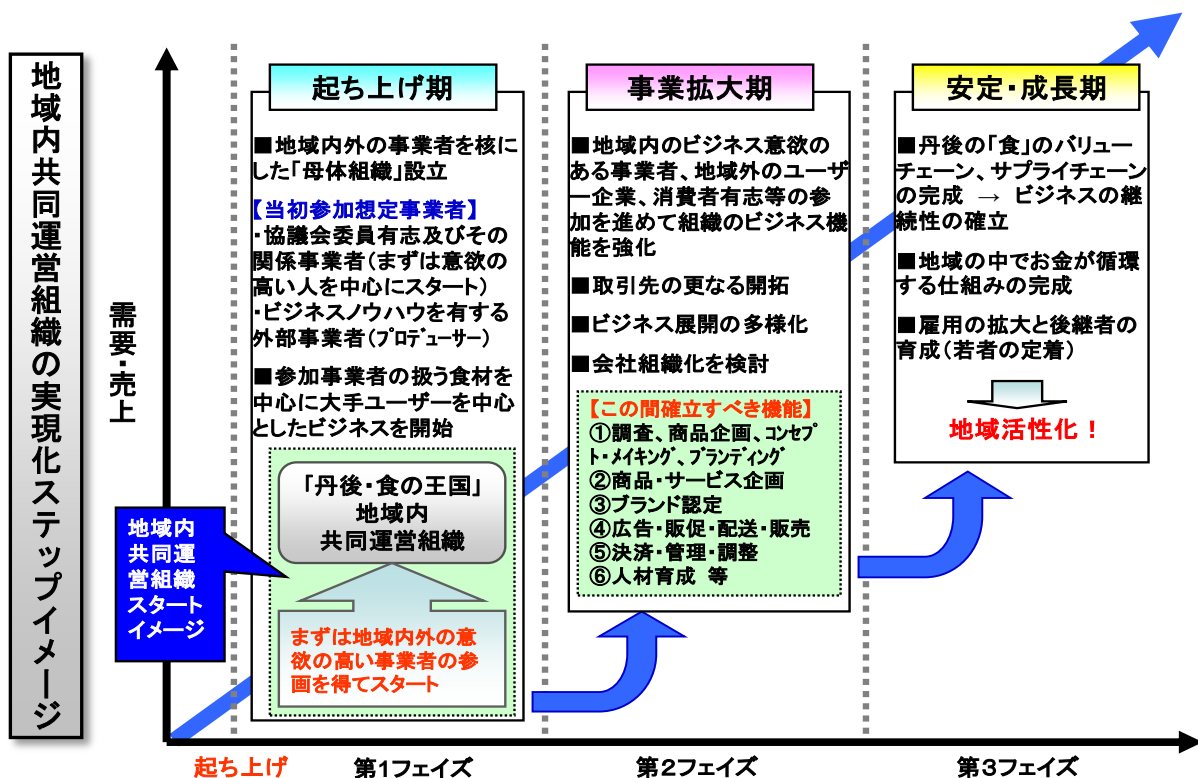


イ 食関連ビジネスの推進（地域内共同運営組織の設立）

- 丹後地域内において食関連ビジネスを積極的に推進するための施策を実施します。
- 施策の実施に当たっては、当面、当協議会と行政とが連携してその機能を担っていくこととし、並行して、地域が主体となって食関連ビジネスを行うことを目的とした「地域内共同運営組織」の設立を目指します。
- 当該組織の設立後は、組織に参画する地域内外の生産者、事業者、ユーザー企業、消費者等が、それぞれ責任と役割を担いながら、地域内の関係団体（丹後広域観光キャンペーン協議会、(財)丹後地域地場産業振興センター等）とも連携の上、丹後地域内の食材を、地域外の流通業・外食産業・ホテル等において活用してもらうための積極的な売り込みや、地域内での活用促進、また、丹後地域への観光誘客を図る事業の展開等、地域が「自立」「循環」「持続」して食関連ビジネスの推進を図る仕組みの確立を目指します。

地域内共同運営組織の想定形態

- ◆ 地域内外の生産者、事業者、消費者、ユーザー企業等が参加。（食関連のみに限定しない。）
- ◆ 最終的には会社組織化を目指し、各参加者がそれぞれ出資して、経営参画する形を目指す。
- ◆ 経営者（リーダー）は、ビジネス経験のある人材を中心に地域内外からそれぞれ選定。
- ◆ 地域が事業リスクを認識して主体的に経営を行うこととし、府・市町・関係団体の参画は、必要最低限に留める。



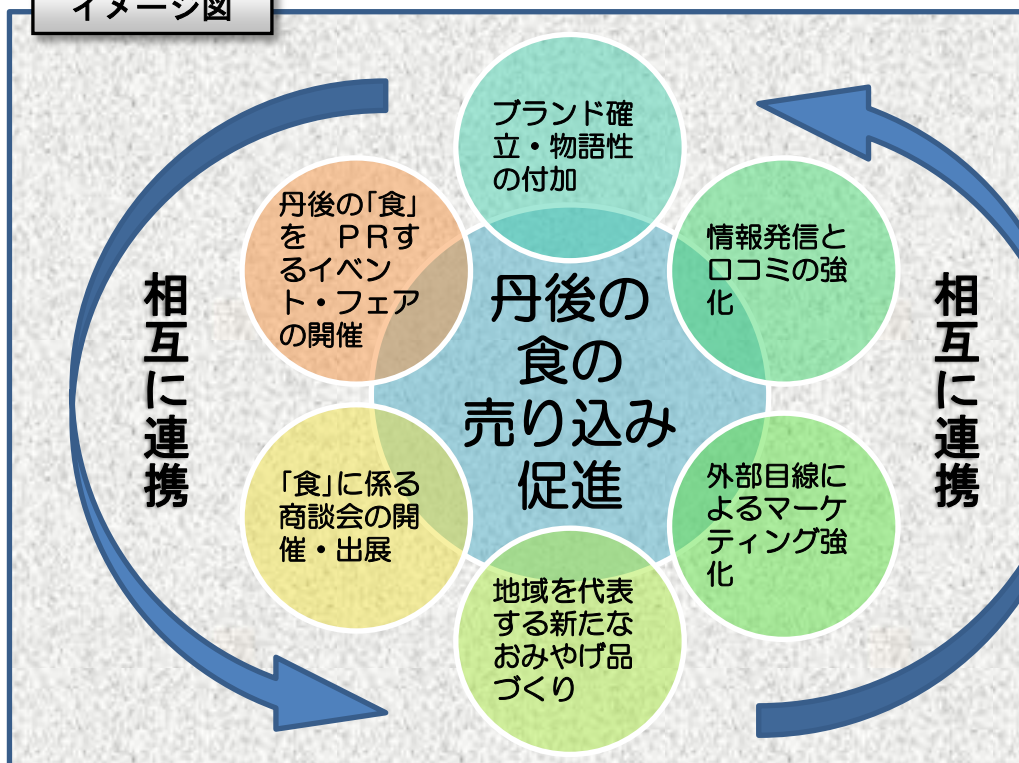
イー(7) 地域外への丹後の食の売り込み促進

■丹後地域の魅力ある食材の高付加価値化とブランド化を行い、積極的なPRと、口コミ強化等によって、地域外への丹後の食の売り込みを促進します。

施策の方向性

- ◆ブランド確立・物語性の付加
 - ▶外部視点を重視した「丹後・食の王国」ブランドの基準づくり
 - ▶「丹後・食の王国」の商標登録、ロゴマーク策定、キャラクターづくり
 - ▶「丹後口コミ大使」との連携による丹後の魅力にまつわるストーリーづくり
- ◆情報発信と口コミの強化
 - ▶丹後の四季折々の食材や、それを味わうことができる施設の情報など、旬のうまいものの情報をネットやメディアを活用して戦略的にPR
 - ▶丹後あじわいの郷や、地域の道の駅などの拠点施設からの情報発信
 - ▶農水産物のオーナー制度や体験ツアーなどを通じた丹後のサポーターづくりによる口コミの強化
- ◆外部目線によるマーケティング強化
 - ▶外部専門家の指導による商品企画、デザイン開発、販路開拓等の実施
- ◆地域を代表する新たなおみやげ品づくり
- ◆「食」に係る商談会の開催・出展
- ◆丹後の「食」をPRするイベント・フェア等の開催

イメージ図



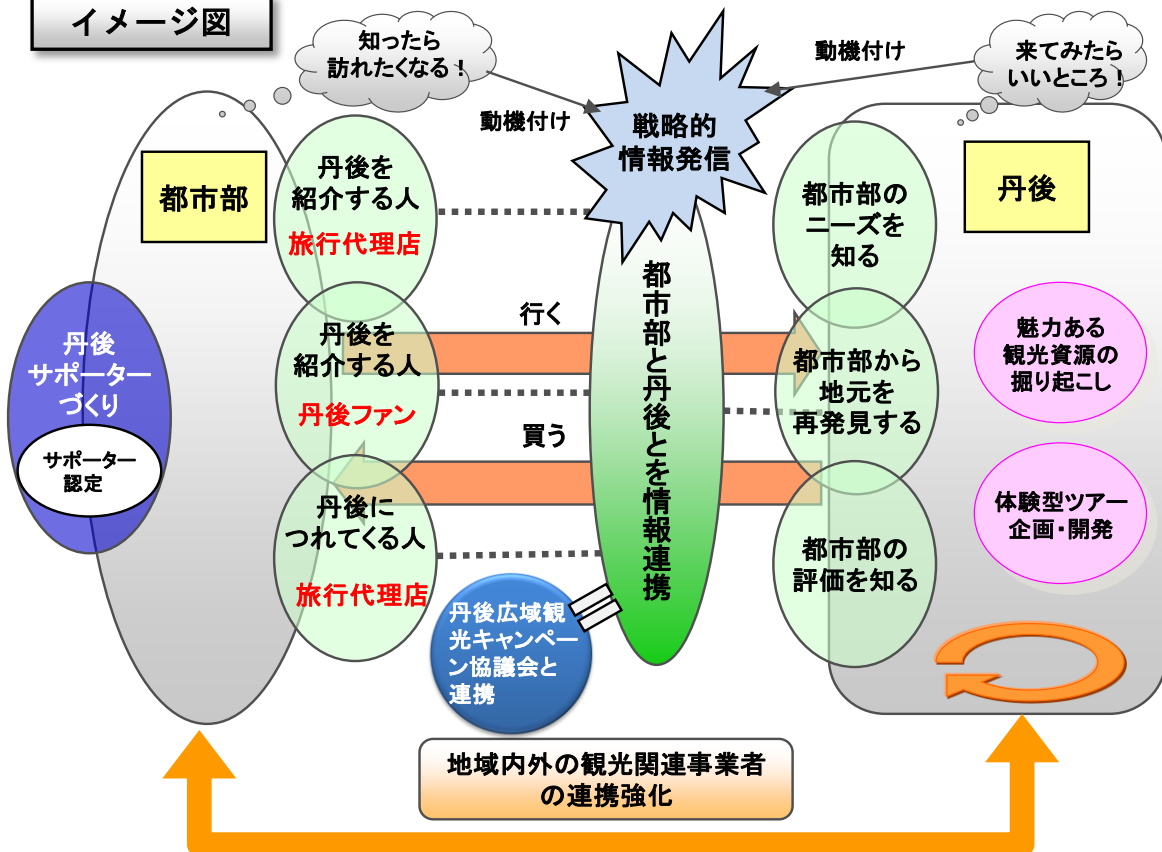
イー(イ) 食と観光との連携強化（観光客を増やすための取組）

- 観光客が、「食」をきっかけとして、丹後地域を知り、訪れたいくなるような「動機付け」と、一度丹後地域を訪問した人に「リピーター」となってもらうための施策を実施します。

施策の方向性

- ◆都市部と丹後地域とを情報によって連携させ、実際の観光誘客に直結させるための「食」をテーマとした戦略的な情報発信。（丹後広域観光キャンペーン協議会と連携）
- ◆生産者、加工業者、飲食店、ホテル・旅館、交通事業者を始め、地域内外の観光関連事業者の連携を強化することによる、新たな観光ルート化、拠点化。
- ◆地元の人だけが知るような、素朴だが、観光客にとっては魅力ある観光資源の掘り起こし。
- ◆丹後のこだわり食のツアー、歴史・文化＋食の体験ツアー、丹後のゆっくりライフスタイル体験ツアー等、丹後の豊かな地域資源を満喫できる「体験型ツアー」の企画・開発・実施。
- ◆丹後地域を愛し、消費者視点で丹後の情報を発信してもらえる「丹後サポーター」づくりと、その認定。
- ◆丹後地域全体の「おもてなし」の向上。

イメージ図



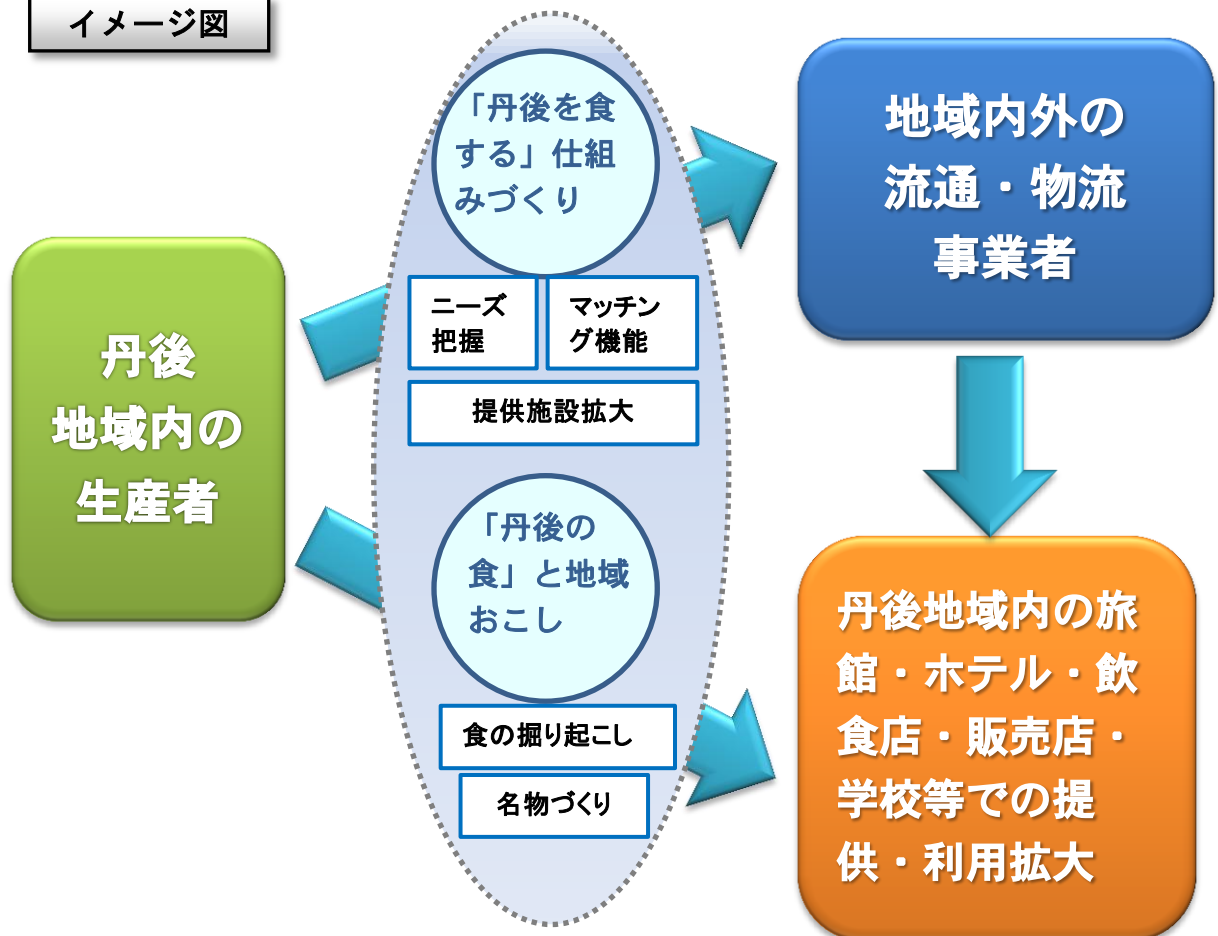
イ-(ウ) 地域の賑わいを形成する地域内消費の促進

- 生産者と流通業者、地域の旅館やホテル、飲食店等とのマッチングのための仕組みづくり等を行うことにより、丹後の「食」の地域内での提供を拡大します。

施策の方向性

- ◆「丹後を食する」仕組みづくり
 - ▶「利用する者」と「生産者」とのマッチングの仕組みづくり
 - ▶地域内のニーズを把握するコーディネート人材の育成
 - ▶地域の郷土食の観光資源化と飲食店での提供拡大（丹後ならではの「食」が味わえる施設の確保）
 - ▶直売の拡大、農・漁家レストラン展開の支援
- ◆「丹後の食」と地域おこし
 - ▶食材や郷土料理の掘り起こしと地域資源としての再評価
 - ▶地域食材の組み合わせによる名物づくり
 - ▶地元食材を活用したレシピづくりと講習会の開催

イメージ図



ウ 食関連ビジネスの創出と拡大に向けた制度的支援と拠点づくり

ウー(7) 企業誘致・起業・産業集積促進のための各種支援制度の整備

- 食関連産業を積極的にバックアップし、企業誘致・起業・産業集積を促進させるための各種支援施策を実施します。

施策の方向性

- ◆丹後地域全体を食関連産業を集積促進させる地域と位置付け、段階に応じて、必要な支援施策を実施。
 - 地域内への企業立地を促進させる施策（企業立地促進条例に基づく支援）
 - 起業・事業化の促進と、地域のがんばる事業者を後押しする（地域内での投資促進に資する）施策
 - 地域内のシーズの掘り起こし・育成に資する施策
 - 地域の「核」となる人材育成への支援（セミナー、研修の実施等）

食関連産業連たん立地を目指した各種支援制度の拡充イメージ

食関連産業集積促進地域（丹後地域）

■企業立地の促進

- ・企業立地支援の拡充（食関連産業を対象に追加、面積要件緩和、助成率アップ等）

■起業、事業化の促進

■地域のがんばる事業者の後押し（地域内での投資促進）

- ・元気な地域づくり応援ファンド、農商工連携応援ファンドを活用した支援
- ・設備投資支援の拡充（対象分野の限定解除等）
- ・販路開拓支援の拡充（食関連産業を対象に追加）
- ・「丹後・食の王国」新低利融資

■地域のシーズの掘り起こし・育成支援

- ・小規模事業者に対する育成支援

■ビジネス感覚を持った地域人材の育成

- ・地域の「核」となる人材育成への支援（6次産業化指導人材育成）

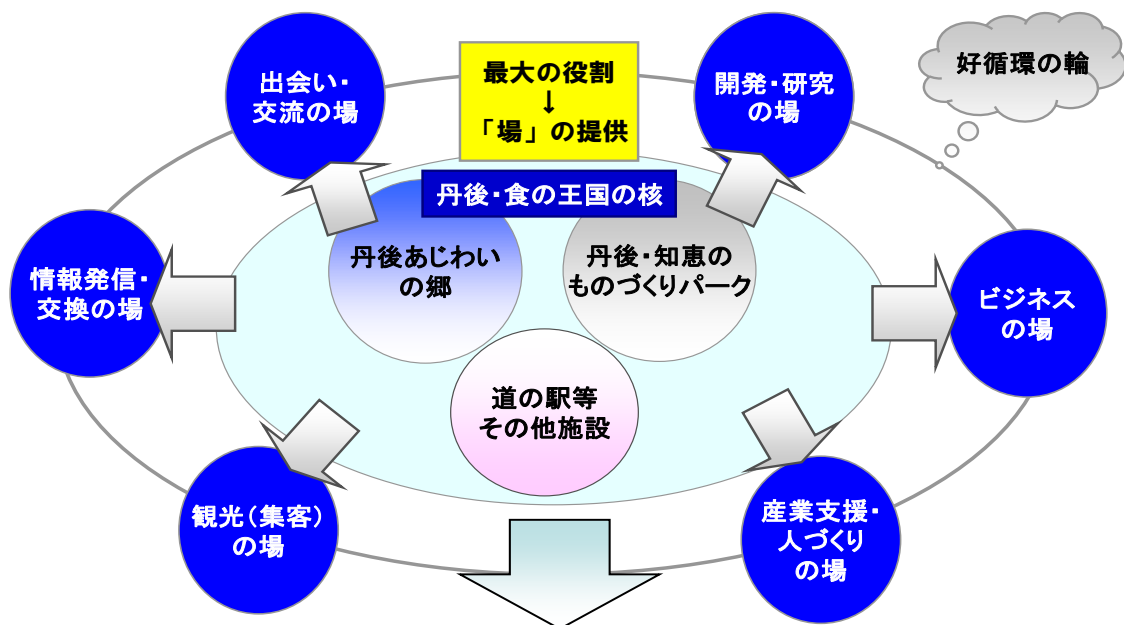
ウー(イ) 食の拠点づくり

■本構想の核となる「食の拠点」づくりを推進します。

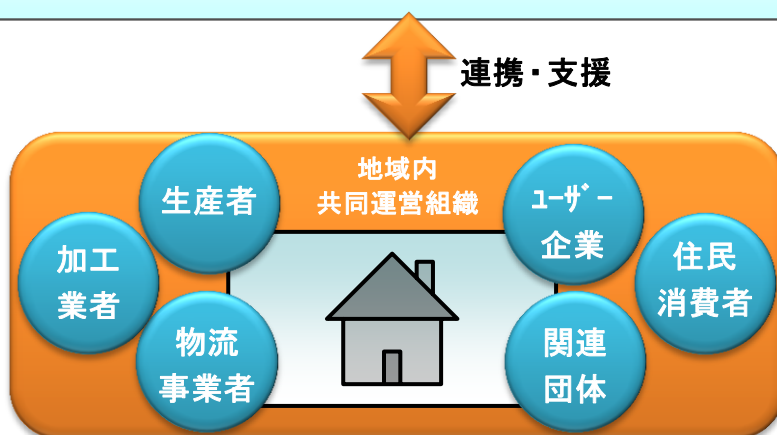
施策の方向性

- ◆丹後あじわいの郷、丹後・知恵のものづくりパーク、道の駅など既存施設の活用と機能強化
 - ▶地域の「食」の提供による賑わいの拠点づくり
 - ▶丹後地域全体の「食」に係る情報発信の拠点づくり
 - ▶食に係るビジネス拠点づくり
 - ▶食関連産業の総合支援拠点づくり（ワンストップ窓口の設置等）
 - ▶地域の核となる人材育成の拠点づくり

「丹後・食の王国の核」としての食の拠点の活用イメージ



丹後地域の食関連産業を発展させる「エンジン」として機能させる！

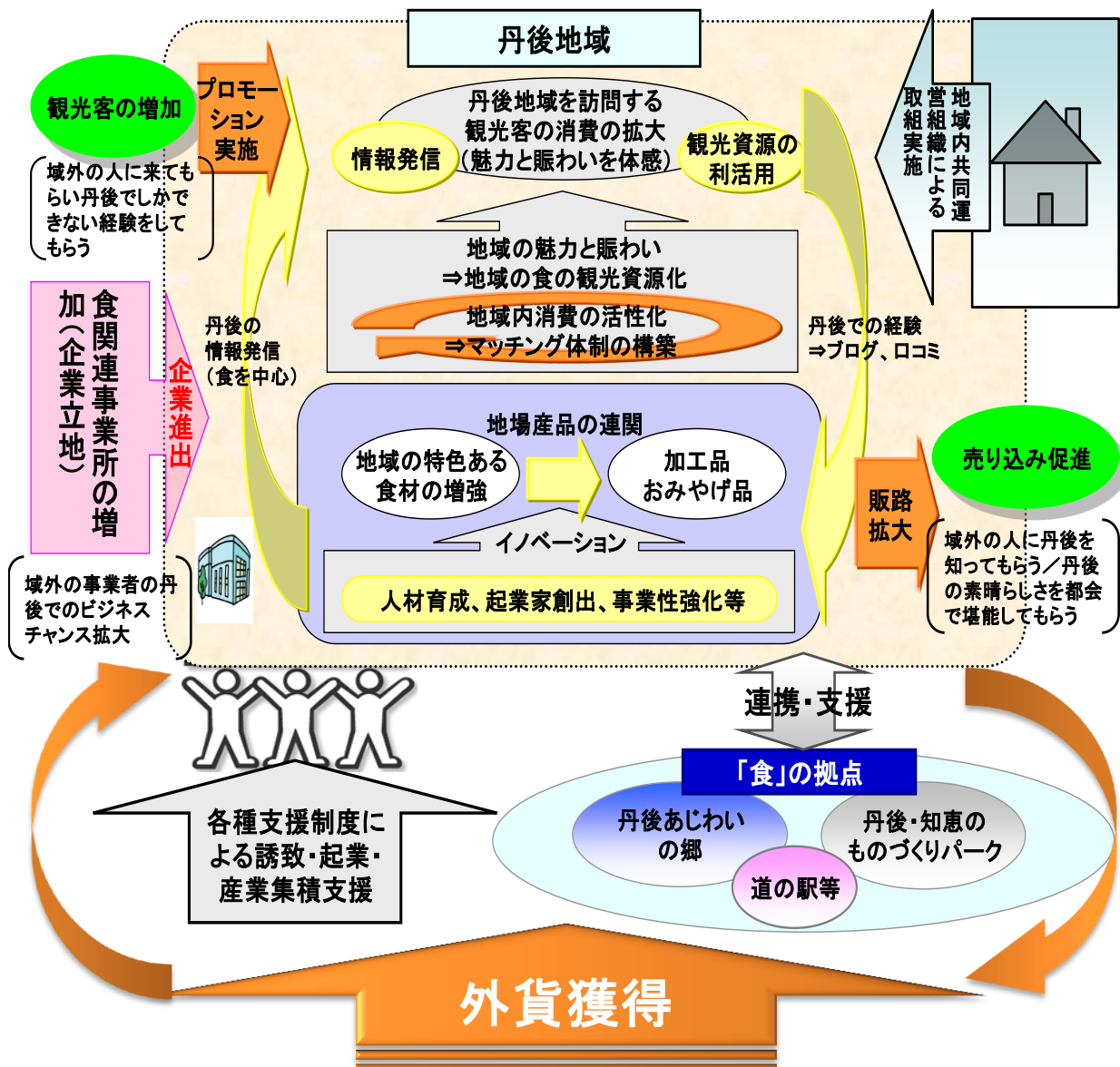


(2) 施策の関連イメージ

上記(1)の重点施策全体の関連イメージは以下のとおりです。

【イメージ図説明】

地域（将来的には地域内共同運営組織）が主体となって、丹後地域内外でそれぞれ重点施策を進め、その取組を、各種支援制度によってバックアップするとともに、丹後あじわいの郷ほかの「食の拠点」が施策推進のエンジンとなることによって、丹後地域内へのヒト・モノ・カネの流れを活発にし、より多くの外貨の獲得を目指す。



7 今後の取組スケジュール

本構想の実現に向けて、以下の取組スケジュールに従い、進めていくこととします。
 本構想については、平成24年度までに一定の実現を目指し、それ以降は、その成果を更に発展させ、地域全体を継続的に成長させていくための取組を進めていきます。

「丹後・食の王国」構想プロジェクト 取組スケジュール

